

第8号：9・10月の  
イベント

空手道 ページ1～2

【糸東会ニュース】  
師範講習会

空手道 ページ3～4

【糸東会ニュース】  
第8回レベルアップ講座  
(九州会場)

空手道 ページ5～6

【糸東会ニュース】  
令和6年度  
トップアスリートナショナルチー  
ム 第2回強化合宿

空手道 ページ7～10

【糸東会ニュース】  
令和6年度  
西日本 Sr. Jr 強化練習会  
及びジュニア会員対象セミナー

空手道 ページ11～14

【各地区協議会（県連）ニュース】  
関西地区協議会技術講習会  
関東地区協議会組手審判講習

日時：令和6年9月7・8日（土・日）

場所：兵庫県立兵庫工業高等学校

講師：岩田 源三 会長・1級資格審査員  
野澤 幸洋 副会長・1級資格審査員  
山岡 硯太郎 副会長・1級資格審査員  
坂本 清 副会長・1級資格審査員  
小野 和宏 副理事長兼技術本部本部長  
・1級資格審査員

委員：宮 正嗣 技術本部副本部長  
坂本 龍也 指導委員会委員長  
南 聡朗 指導委員会副委員長  
前野 弥栄子 指導委員会委員

立会人：摩文仁 賢雄 宗家

参加者：54名

講師に一級資格審査員の岩田源三先生・野澤幸洋先生・山岡硯太郎先生・坂本清先生・小野和宏先生、立会人に摩文仁賢雄宗家をお迎えし、令和6年度の師範講習会が兵庫県立兵庫工業高等学校体育館に於いて54名参加の中行われました。

開講式において岩田会長から、全空連競技規定の中にある形リストの見直しが進められている件についてご説明をいただきました。さらに摩文仁宗家より「師範が一堂に会する年1回の貴重な機会です。積極的に質問し、技術に対する理解を深めてください。」と激励のお言葉をいただきました。

初日、岩田会長による十八の指導より開始しました。

対人による分解組手には特に時間をかけて丁寧なご指導をいただきました。

接近間合いの攻防から極めに至る手法の中で、一連の動作において留意すべきポイントを体得するべく、受講者たちは相互に何度も技をかけあい、理解を深めました。

後半は、野澤副会長に壮鎮の指導を行っていただきました。

同じ系統に属する形の説明と、特徴的な技については一挙動ごとに細やかな指導がありました。分解組手の中では受講者同士がより良い極め方に考えを巡らせ実践しました。

2日目は午前9時より坂本副会長による公相君小の講習が始まりました。

緩急の表現で留意する点や、この形ならではの技について特に詳しく指導していただきました。相手の動きに対して随時応変し、優位な位置を占めるための体捌きを学びました。

つづく法形組手を、山岡副会長と小野技術本部長にご指導いただきました。法形組手は段位審査の際、自由組手に代わって約束組手として選択できる事になっている旨のご説明をいただきました。

攻撃側、受け側に分かれた動作確認をし、その後相手を伴って行いました。対人では特に、転位の方角、相手の体を崩す角度について留意しながら実践し、講師より指名された受講者は緊張の面持ちを浮かべながら全受講者の前で順番に演武しました。

閉講式において山岡副会長から、「今回の講習会で学んだことを各道場に持ち帰り、糸東流の多彩な技を後進に正しく伝承して戴きたい。」と締めくくっていただきました。

こうして講師の熱意を感じながら技術の習得に打ち込んだ講習会は幕を閉じました。



師範講習会 集合写真



師範講習会 講習風景



# 空手道 第8回レベルアップ講座【九州会場】

日 時：令和6年9月15日（日）

場 所：鹿児島県（サン・あもり）

講 師：坂本 清 副会長・1級資格審査員

小野 和宏 技術本部長・1級資格審査員

委 員：南 聡朗 指導委員会副委員長

高橋 秀和 指導委員会委員

参加者：21名

開講式では、坂本・小野講師より「本年度最後のレベルアップです。短い時間ですが、九州各地より出席をしていただいた皆様の熱意に対し、力になれるよう講習会を進めていきます。本年実施される各地域での審査会、師範等資格取得試験、高段位、称号審査合格に向けて本日実りのある講習会にしたいと思います。」とお言葉をいただき、受講生21名の下、第8回レベルアップ講座が始まった。

初段～5段受験者対象のグループでは、糸東流の基本、理念、呼吸、手捌き、足捌きおよび、首里手・那覇手の違いを再度確認した。

高段位取得グループは、五十四歩、パープーレンの形を行い、受験に対する心構えを学んだ。また、細部にわたる分解の指導で技の理解を深めた。助教、準師範、師範取得グループにおいては、模擬試験を行い、立ち位置、発声の大切さなど効果的な指導方法を学んだ。また、教本の写真では見えない運足・轉身などについても、分解を交えながらご指導をいただいた。

閉講式において両講師より、「試験においては決して一夜漬けにならないよう、本日の講習会の内容に基づいた修練を重ねていただきたい。個々の充実のみならず指導者として会の発展に寄与していただきたい」と激励のお言葉をいただき講習会は終了した。



第8回レベルアップ講座 集合写真





第8回レベルアップ講座 講習風景





# 令和6年度トップアスリートナショナルチーム 第2回強化合宿

日時：令和6年9月28・29日（土・日）

場所：糸東会本部道場

組手指導者：選手強化委員長 井戸康善

委員：井上 修・続橋拓真・川住茉美

形指導者：選手強化副委員長 関根寛和

委員：山本将孝（西日本事務局）

第2回TOPアスリート強化合宿が糸東会本部道場にて行われました。

今回参加予定であったAPSKF代表選手は全関西大学空手道選手権大会と日程が重なってしまった為、欠席となり関東勢6名が集まっての少数精鋭の合宿となった。

初日は、

一撃必殺である空手について突き・蹴りが正しい軌道で狙った場所へコントロールされているか？人体の急所を実際に確認しながらそこに向けて体を動かすことの大切さを共に学んだ。また、軸をいかにぶれることのないように手足が先行しその後軸を動かす。しかもとてもゆっくり動かしての移動式は相当足腰に負荷のかかる練習となり選手のみならず汗だくになるほどであった。

全体を通してとても基本に忠実で派手な練習はなく周りから見ればとても地味な内容であったが、その繰り返しが今のTOPアスリートを生み出していることは間違いないと確信した。

2日目は、強化委員である続橋先生が指導している帝京安積高校空手道部の皆さんが福島県より練習に加わり活気ある一日となった。

形は、先日の反復練習を行い午後からやっとなりの切り取り練習・通し練習となった。相当筋肉痛が出ていたようだが突き蹴りの軌道もかわり、力強い形となり練習会場はとてもいい音に包まれた。

TOPアスリートと高校生との交流もでき悩み相談室的な時間もとることによって普段話せないような相談事も話し合いとても晴れやかな顔をしていたのが印象的だった。

組手は、芝本選手も加わり、高校生たちは憧れの選手と共にできる喜びを感じているようで生き生きと練習していた。対人での練習では積極的に申し込み、一流の技を体感していた。

内容としては、無駄のない構えから突く練習や前での圧力の掛け方、コーナーでのアタックとディフェンス、単発ではなく2次攻撃3次攻撃まで意識した攻撃を行いそれに遅れないフットワークを学んでいた。



トップアスリート強化合宿集合写真



トップアスリートの練習風景と高校生との交流風景





# 令和6年度 西日本シニア・ジュニア強化練習会及び ジュニア会員対象セミナー

日時：令和6年10月6日（日）9：00～16：30

場所：東大阪大学敬愛高等学校

主催：糸東会選手強化委員会

午前は、西日本Sr. Jr強化選手対象に形・組手選手の強化練習会を行い、午後より糸東会会員向け指定強化選手及び一般の小学2年生から高校3年生を対象に清水希容選手による形チャンピオンセミナーを母校である東大阪大学敬愛高等学校にて行いました。

参加人数は、44名と当初の募集人数より少なかったが、参加した選手にとってはとても身近な環境で指導が受けられるという絶好の環境でのセミナーとなりました。

準備運動では、足の指先の小さな関節まで意識したもので足の指の開き具合も意識してほぐすことで、こんなにも変わるものかと実感しました。

入念なストレッチから基本を行いました。

基本での共通事項として、

引き手・引き足・バランス・スナップ・膝の抱え込みやコース取りが重要であること。

また、立ち方にとっても重要な股関節のはめ込み方や母指球を意識しての回転などなど。

指導の際には、とても表情豊かに子供たちと会話をし、質疑応答しながら解説を行う為、非常にわかりやすく、すぐ動きに反映されていました。清水選手が説明してやって見せるお手本の一挙手一投足に子供たちは目を輝かせました。

さすがメダリスト、世界で活躍している選手でとても驚愕しました。

あの動きを目の前で見られたのは、宝になると思います。

父兄は体育館の外で見学可能でありましたが、驚嘆の声を上げたりして必死にメモする姿が見受けられました。

練習最後は、自分の課題としている形の一部分を切り取って今日の復習を兼ねて、基本動作の延長線上に形があること・基本の大切さを伝えていました。

強化委員会から突然のお願いをし、形を一つ披露して頂けないかとの申し出にも快諾して頂き、スーパーリンペイを披露して下さいました。

場内は、一瞬で静まり返り清水選手の雰囲気。

さすがの一言、会場は大きな拍手で包まれました。

最後、東京オリンピック銀メダルを全員が手に取って拝見できる時間を設けて頂き、子供たちは大事に手に取り目を輝かせていました。

その後、サイン会を実施し参加者すべての方にサインをしていただき盛会のうちに終了しました。

是非今後も子供たちの為に継続していきたい事業であります。



西日本 Sr. Jr 強化練習会集合写真



西日本 Sr. Jr 強化練習風景





清水希容選手・形チャンピオンセミナー集合写真



セミナー開講式



足指ストレッチの様子



セミナー風景





セミナー風景



2020東京オリンピック銀メダル披露の様子



演武風景





## 関西地区協議会技術講習会

日 時：10月13日（日）12時～16時30分

場 所：東大阪アリーナ武道場

講 師：山岡硯太郎先生・坂本清先生

委 員：坂本龍也指導委員長・南聡朗事務局長

受講者：22名

本年8月17日糸東会全国大会にて大阪府糸東会相談役 山岡硯太郎先生が糸東会9段位を授与されました。大阪府糸東会一同より、10月13日（日）大阪府糸東会秋季合同審査会開講式にて山岡先生に道衣を贈呈いたしました。

10月26・27日開催師範等資格取得審査会、11月3日高段位審査会・称号審査会、11月17日関西地区4段位5段位審査会に向けての講習会が行われた。

開講式では、本年の集大成、審査会全員合格に向けて講習会を行います。厳しく感じるであろうかと思いますが個々のレベルアップに繋がること、ご容赦願う。と挨拶され講習会は、始まった。

講習会は、4グループに分かれ師範等取得者は、講師の先生の指導の前に委員指導の下模擬試験を行い、講師の先生に指導を頂いた。

講師の先生からは、師範等取得審査に臨む受講者には、当たり前的事をあえて再確認をして、今一度基本に立ち返り新鮮な目で指導をするように又、自身で形を見せて、させて、評価をして、皆が共感を持てる指導をと指導された。

段位取得者には、形の流れ、意味、分解を描きながら、形を打ち目線、緩急の指導がなされた。

称号は、各論文を持ち寄り講師の先生よりアドバイスを頂き、受講者同士で互いの論文を研究した。

講習会は、16時30分終了予定だったが、受講者の熱はヒートアップし15分延長して終了した。

閉講式では、皆さんの健闘を祈る。継続は力なりと締めくくられた。

受講者は、互いの練習、技術研究が出来実りある講習会となった。



山岡硯太郎先生と大阪府糸東会役員



講師：山岡硯太郎先生・講師：坂本清先生  
委員：坂本龍也指導委員長・講習会受講者





# 関東地区協議会組手審判講習会

日時：令和6年10月26日（土） 9：00～13：00

場所：埼玉栄高等学校 空手部道場

講師：長谷川 克英（審判部長）・彼ノ矢 健一・橋本 淳

委員：永嶋 政治

審判員：17名

第3回関東地区協議会組手審判講習会が埼玉栄高等学校空手道部のご協力により行われた。

開講式の後、座学が行われ各審判員が実際に大会等で経験した様々なケースを基に疑問に思っていることを長谷川講師より解説と対応についての説明をして頂き、各審判員の共通認識として理解を深めることができた。

座学の後、A・B班に分かれA班は、橋本講師が、B班は、彼ノ矢講師が受け持ち実技講習が行われた。各講師より、主審の立ち位置、ジェスチャー、発声、ウォーニング・ペナルティーの見極め等、副審に於いては、ポイントとなる技の見極め、サポートのタイミング等細部に亘り、試合を中断してその都度解説と対応の仕方などを学び、個々のレベルアップに繋がる実技講習会となった。

閉講式では、会を代表して長谷川講師より、ご協力を頂いた埼玉栄高校の空手道部監督並びに選手の皆さんに感謝の意が述べられた。また、監督より、これから行われる大会を前に良い練習が出来、各選手の課題も見つけることができ、とても為になりましたとお礼のお言葉を頂いた。

審判員にとっても11月に行われる関東大会に向けて少し予定時間をオーバーしてしましたが、良い講習会となった。



開講式の様子





講師の先生方



審判員の先生方



座学の様子



実技講習の様子



閉講式の様子

